

授業改善推進プラン 国 語 [小学校第4～6学年]

昭島市立拝島第一小学校

学年等		項目	内 容
令和2年度 第4学年	令和2年10月	学習に関する児童の実態・課題	○既習漢字は反復練習や小テストの積み重ねで徐々に定着が見られるようになってきた。 ▲昨年度の学力調査では、「読むこと」(目標値より-8.0ポイント)と「書くこと」(目標値より-18.3ポイント)の弱さが目立った。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・伝えたいことを分かりやすい文章で書く力。 ・文章を正しく読み取る力。 ・既習漢字の定着。
		具体的な授業改善の方策	・書く活動を多く取り入れる。大まかな段落や、既習の漢字を使うことを意識させて文章を書くよう指導する。 ・国語辞典を活用させることで、言語への興味関心を高めるとともに、語彙力の向上を図る。 ・音読する機会を多くとる。指示語や接続語、段落相互の関係に気を付けながら、丁寧に読み取らせる。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○文章を読んで、その大まかな内容を読み取ったり、要点をおさえたりすることができた。 ○国語辞典を使うことに慣れた。辞書を引くことへの抵抗感がなくなってきた。 ▲書く力には課題が残る。引き続き、文章を書くときに、三段構成を意識させる。また、キーワードやキーセンテンスを丁寧に確認しながら文章を要約する指導を行う。 ▲既習の漢字を使うことについて、全体的には意識の向上が見られたが、個人差が大きい。低学年の漢字が定着していない児童も一定数いる。
令和3年度 第5学年	令和3年10月	学習に関する児童の実態・課題	○1学期の評価テストにおいて、文章を読んで、その大まかな内容を読み取る内容では、平均86点、話すこと聞くことは88点であり、到達目標を達していると感じる。 ○国語辞典を使うことに慣れた。辞書を引くことへの抵抗感がなくなってきた。 ▲知識・技能について、1学期の評価テストで平均点が67点であり、言葉の使い方や漢字について課題が見られる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・伝えたいことを分かりやすい文章で書く力。 ・既習漢字の定着。
		具体的な授業改善の方策	・漢字を学ぶ学習において、国語辞典を活用することで言葉の意味の理解を通して覚えるようにしたり、書く活動で既習の漢字を使用するよう促すことで文章力や漢字の定着度を上げていくようにする。
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	・知識・技能について、評価テストの平均点が67点であり、年度当初から点数に変化がなかった。言葉の使い方や漢字の学習で工場が見られることもあったが依然として課題が残った。 ・書く活動において、作文指導やおすすめの本紹介カードなどで年間を通じて学習を進めてきた。長い文章を書けるようになってきたが、漢字の使用や段落の分け方など、技能面での課題がある。
令和4年度 第6学年	令和4年10月	学習に関する児童の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	